

令和3年度

自己評価結果

聖マタイ幼稚園

保育理念

本園はキリスト教精神にもとづいて、園にかかわるすべての人々が、神の祝福と愛の恵みの中で、幼な子を中心として、神に感謝しつつ保育をする。心身の発達と人格形成の基礎となる最も大切なこの時期に、望ましい環境を整え、家庭支援や地域との関わりを重視しながら、幼な子にとって最善の保育を目指す。

保育目的

キリスト教の愛に根ざし、幼児の成長の発達にふさわしい環境を設定し、教師が見守りつつ、いろいろな援助のなかで、幼児の心や身体が健康で、明るく全体に調和のとれた、自発性のある子どもを育てる。

保育方法

子どもたちの可能性へのチャレンジとしてモンテッソーリ教育法を取り入れています。クラスは3・4・5才児混合の縦割りです。この教育法を基にモンテッソーリ氏が開発した教具を用いて子どもたちがおしごと（モンテッソーリ活動）に取り組んでいる姿が見られます。整えられた環境の中で子どもたちの自らを成長させようとするエネルギーを支え、「一人でできるように・・・」と自立へ向かう道を援助していきます。

評価項目の達成状況

I 保育の計画性

	評価分類	評価	備考
1	園の教育理念 教育方針の理解	A	
2	幼稚園教育要領の理解	A	
3	教育課程の編成	A	
4	指導計画の作成	A	
5	環境の構成	A	
6	保育と計画の評価・反省	A	

II 保育の在り方、幼児への対応

	評価分類	評価	備考
1	健康と安全への配慮	A	
2	幼児のみとりと理解	B	
3	指導とかかわり共同作業者として	B	
4	あこがれを形成するモデルとして	A	
5	心のよりどころとして	B	
6	遊ぶ援助者として	A	
7	保育者同士の協力・連携	A	

III 教師としての資質や能力・良識・適性

	評価分類	評価	備考
1	専門家としての能力・良識	B	
2	マナー	A	
3	義務	A	
4	組織の一員としての在り方	A	
5	保育の楽しみ・喜び	A	
6	まわりを感じ取れる感性・アンテナ	A	

IV 保護者への対応

	評価分類	評価	備考
1	情報の発信と受信	A	
2	協力支援	A	
3	守秘義務の遵守	A	
4	対応上のマナー・良識	A	
5	クレームへの対応の仕方	A	

V 地域の自然や社会とのかかわり

	評価分類	評価	備考
1	地域の自然・人々とのかかわり	B	
2	小学校との連携	B	
3	地域への開放と支援	B	

vi 研修と研究

	評価分類	評価	備考
1	研修・研究への意欲・態度	B	
2	教師としての専門性に関する研修・研究	B	
3	遊具・教材に関する研修・研究	B	
4	園内の環境に関する研修・研究	A	
5	今日的課題に関する研修・研究	B	
6	自らを高めるための学習	A	

評価は A (十分達成できている) B (おおむね達成できている) C (達成に努力がひつようである)

総合評価

I 保育計画について

前年度の反省点や成果を参考にし新たな計画をしています。

2021年度はコロナ禍で経験した新たな試みの中で特に行事を取り入れる計画について十分に話し合う事ができた。

II 保育の在り方、幼児への対応

まず子どもの成長に繋げる保育について保育者の認識を確認する必要がある。

どんな時でも、どんな場所でも個々を大切に作る保育を展開できるように準備していなければならない。保育者が意見や疑問を自由に発言できる雰囲気作りも重要となる。

III 教師として資質や能力・良識・適正

日頃より保育についての話題や指導面での指導の苦労話など会話がなされているので教師としてお互いに参考にしたり資料等の提供が快くできている。

IV 保護者への対応

文書やメールを使い情報発信に努めた。対面での会話が少なくなったり保護者の顔を認識するまでに時間を要したことは反省として次年度に向けての対策を検討したい。園児個人についての相談などは電話対応しながら解決に努めた。

V 地域の自然や社会とのかかわり

日頃より地域交流がなかなかできない。2021年度も出かける事に制限があり遠出をする機会が少なかった。広い園庭を大いに活用し虫取りや草木をみたり食育につながる野菜の成長を楽しみながら過ごすことができた。

VI 研修と研究

専門的な学びの研修は大いに参加できるようにしている。web研修は出かけるリスクが減り時間を有効に使えるので参加しやすかった。又、同じ研修に複数の職員が参加できるので終了後、感想や意見交換ができ自分自身の成長にも繋げる事ができた。

今後の課題

コロナ禍により通常の保育のアレンジが必要となった為、子どもにとってより効果のある保育内容について話し合う時間が増えた。保育のマンネリ化を防ぐ機会にもなり、教師それぞれが学んだ事を展開できる幅広い試みが今後も大いに取り入れる事ができるようにと期待する。